

労働力調査（基本集計）

平成26年（2014年）10～12月期平均（速報）

結果の概要

[全 国]

- ・ 就業者数は6373万人と、前年同期に比べ21万人の増加
- ・ 完全失業者数は220万人と、前年同期に比べ26万人の減少
- ・ 完全失業率（原数値）は3.3%と、前年同期に比べ0.4ポイントの低下

[地域別]

- ・ 就業者数の対前年同期増減をみると、南関東、北陸、東海、中国及び四国は増加、東北及び沖縄は同数、北海道、北関東・甲信、近畿及び九州は減少
- ・ 完全失業者数の対前年同期増減をみると、北海道、東北、南関東、北関東・甲信、東海、近畿、中国及び四国は減少、北陸、九州及び沖縄は同数
- ・ 完全失業率及び対前年同期ポイント差は、次のとおり

北海道	4.4%	(前年同期と同率)	近 畿	3.7%	(0.4ポイント低下)
東 北	3.3%	(0.6ポイント低下)	中 国	2.7%	(0.3 ")
南関東	3.3%	(0.4 ")	四 国	3.0%	(0.5 ")
北関東・甲信	3.1%	(0.8 ")	九 州	3.8%	(0.1 ")
北 陸	2.9%	(0.2 ")	沖 縄	4.9%	(0.1ポイント上昇)
東 海	2.8%	(0.5 ")			

図1 地域別完全失業率

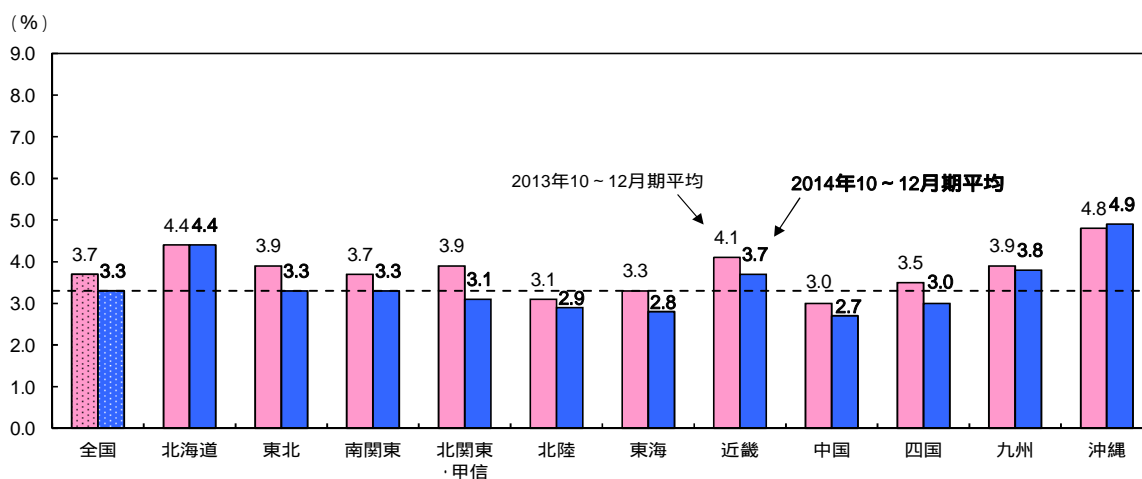


図2 地域別完全失業率の対前年同期ポイント差の推移

